

ワシントン駐在 活動記録

令和元年(2019年) 12月1日(日)～12月31日(火)

1 米上院軍事委員会の公聴会傍聴

- (1) 日 時：(米東部) 2019年12月5日(木) 9:30～11:45
- (2) 場 所：Dirksen Senate Office Building SD-50
- (3) 議 題：Strategic Threats, Ongoing Challenges, and National Defense Strategy Implementation
- (4) 説明者：①Honorable John C. Rood, Under Secretary of Defense for Policy
②Lieutenant General David W. Allvin, USAF, Director for Strategy, Plans and Policy, Joint Staff
- (5) 内 容：国防政策立案に必要な世界各地の軍事情勢に関するヒアリング(脅威分析、優先度の高い戦略分野等の説明等)
 - ※ 中国及びロシアを米国最大の脅威と位置づけ、両国の軍事予算の推移、戦略核兵器を含む軍事力の分析結果等が示されたほか、中東及びインド太平洋地域の最新情勢に関する説明が行われた。
 - ※ 説明者より、今後の米国の国防戦略上の重要分野となる宇宙・サイバー分野の予算措置の必要性が強調された。

2 下院議員補佐官との面談

- (1) 日 時：(米東部) 2019年12月9日(月) 10:30～11:00
- (2) 場 所：議員会館
- (3) 面談者：下院軍事委員会所属議員安全保障担当補佐官
- (4) 内 容：国防権限法案の年内成立見通しに関する情報収集等

3 国防権限法修正案の下院採決結果と在沖米軍基地関連箇所の抜粋報告

- (1) 議案名：下院軍事委員会報告書 H.Rept. 116-333
- (2) 提案者：下院軍事委員会アダム・スミス委員長
- (3) 趣 旨：上院 S. 1790 法案(2020 米会計年度国防権限法案)に関する両院協議会結果報告書の下院本会議審議及び採決
- (4) 結 果：2019年12月11日下院本会議可決(377対48)
- (5) 内 容：以下のとおり
 - ① 米海兵隊のインド太平洋地域への配備に関する項目の追加
 - ② 中国の脅威分析とインド太平洋地域における適切な米軍事力に関する戦略報告書の要求

- ③ 日韓の思いやり予算に関する報告書の要求
- ④ 米日及び米韓同盟の強化に関する議会の意思表示
- ⑤ 日米同盟の重要性と日本の貢献を認める米議会の意思表示
- ⑥ その他（アラスカ等の訓練施設の近代化に関する報告書の要求）

4 気候変動に関するパネルディスカッションの傍聴

- (1) 日 時：(米東部) 2019年12月11日(水) 16:00～17:00
- (2) 主催者：Institute of Policy Studies
- (3) 場 所：Institute of Policy Studies (1301 Connecticut Avenue)
- (4) 議 題：The Intersection of Climate Change and Security
- (5) パネリスト：
 - ①Larry Wilkerson, Distinguished Adjunct Professor of Government and Public Policy, Department of Government at William & Mary College
 - ②Alice Hill, Senior fellow for climate change policy, Council on Foreign Relations
 - ③Emanuel Pastreich, Director, The Asia Institute
- ※進行：John Feffer, Director, Foreign Policy in Focus
- (6)内 容：地球温暖化による気候変動を原因とする世界各地の大規模災害を 国家安全保障上の脅威と捉えることの重要性が指摘され、国家安全保障局や国防総省の本格的な対応の必要性を訴える内容。

5 ニュースレターの発信

- (1) 日 時：(米東部) 2019年12月20日(金)
- (2) 発信先：米連邦議会関係者、有識者等
- (3) 件 数：約350件
- (4) 内 容：知事訪米の概要